

知っていますか？ 福岡教育大その4

無駄遣い、投資としても失敗だらけ



手続きにもさまざまな疑問が

2012年 2月 追加予算配分のばらまき

予算配分委員会の審議なしで100万円を複数の講座、センターに

2013年 5月 アカデミックホール竣工 250人収容 工事費1億円超

教室不足を理由に、多目的グラウンドをつぶして建設。

他施設とのアクセスが悪く、授業の利用は非常に不便。

2014年 4月 正門前に看板設置 260万円

県道から見えにくい。夜間ライトアップまで。

4月 プール改修 50mを25mに 9000万円超（随意契約）

コンクリートで25m埋め、公式記録が取れなくなる。

2015年10月 学校の英語名称を、突然変更

文法的におかしいというネイティブも多い

10月 役職者の優遇

教育研究費の大幅削減の一方で、学長は？円、

副理事6人に、各2万円、教職教育院院長に5万円、

副院長6人に各1万円を決定

11月 大学のロゴマーク決定

11月7日から13日までの短期間でウェブ投票

なぜか投票数2位を採用 経費307万円（随意契約）

2016年 3月 寺尾前学長の退職金を1割増しに

3月31日に役員会（学長と理事3人）で決定、増額分は大学の手出し。

（新潟大学は減額。増額は、東大、京大、九大、東京学芸大のみ）

9月 英語習得院の実態

4000万円を超える初期投資。

2015年4月の受講登録者は374人、修了者は16人

正規のカリキュラムの英語の時間は半減。国の会計検査院の監査も入る

「福岡教育大学の未来を考える名誉教授の会」

連絡先(e-mail) : fue_mirai_emeritus@ina.bbiq.jp